

■ 教室の大柱 ■

(2023.01 改訂)

コース	知 識	技 術
資料保存入門	<ul style="list-style-type: none"> ・資料保存概論 ・紙の話(サイズ・素材) ・本の話(和洋名称と種類) ・本の歴史・素材 ・出版年代について ・紙の話 ・書籍の種類 	<ul style="list-style-type: none"> ・文庫本改装 ・本綴じ ・角背上製本 ・丸背上製本(丸見出し・バックキング) <p>★ 作業に慣れる</p>
修理基礎①	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式製本について ・様々な綴じ方について ・保存箱の役割と位置づけ ・和本の形態と種類 	<ul style="list-style-type: none"> ・綴じとバックキングの復習 ・簡易資料製本(様々な綴じ) ・保存箱制作 <p>★ 修理に役立つ様々な技法を知る</p>
修理基礎②	<ul style="list-style-type: none"> ・図書修理概論 ・クリーニング概論 ・作業場の設営 ・和紙の話 ・ペーパーコンサベーションについて ・のりの作り方 ・修復工房にて裏打ち実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライクリーニング ・高度な紙継の技法 ・表紙の修理・表紙の付け替え ・ページ抜けの修理 ・見返しの修理 <p>★ 修理技術を駆使して実践に臨む</p>
実践修理入門	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館、学校図書館の一般書の知識 ・対象図書に対する具体的な方針立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自担当図書の修理
実践修理本科 (進級は選考あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業計画の立て方(現地調査含む) ・カルテ記載について ・修理個別ケースの事例検証・技術修得 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙継技法 ・補強裏打ち ・角の補強 ・糸はずれの補強 <p>★ 修理方針についての的確な判断</p>

<p>修復基礎 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花布の種類 ・製本技法の歴史の変遷 ・接着剤の知識 ・革の知識 <p>修復基礎 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書物修復概論 ・古典製本様式の変遷 ・紙の知識・革の知識 ・年代の読み方・タイトルの読み方 ・劣化調査・ドキュメンテーション ・修復カルテの記入 <p>修復本科基礎 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサベーションバインディングの知識 ・書物修復の基礎概念 <p><新講座></p> <p>修復本科基礎II</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典花布制作 ・古典製本技法(14世紀～18世紀) ・革漉き ・卒業制作 <p>★ 技法変遷の機能的意味合いを理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代別綴じの復習 ・様々な見返しサンプル作成 ・ドライクリーニング ・革漉き・革製本部分制作 ・糊の炊き方 <p>★ 修復の基本理念と基礎技術を習得する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープによる綴付け製本 ・スプリット製本 ・解体・革漉きの技法 ・革漉きの技術など ・接着剤の作り方など 	
<p>修復本科 I II III (進級は選考有)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修復材料と道具 ・クリーニング概論 ・記録の取り方 ・作業方針の立て方(現地調査含) ・革の養生・染色・修復の全体構想 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の本に従って作業
<p>夏季講座</p>	<p>全クラス合同の研修会/レクチャー・ワークショップ(奈良県立図書情報館にて)</p>	
<p>特別講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等防災ネットワーク事業の一環としての、紙資料レスキューのワークショップ ・授業の中ではカバーできない、特別な製本技法等 	

※ 内容は状況により変更があります。